



# 画像のサブトラクションについて

Autoview-m画面の[Add/Subtraction]機能を使って、2つの画像間の足し算や引き算を行うことができます。

- ① Autoview-m画面中、表示エリアABCDのいずれか2箇所に演算を行いたい画像を表示します。
- ② [Tool2]タブ中から[Add/Subtraction]を起動します。
- ③ 演算の設定を行って[実行]します。（次ページで使用例を紹介します）



『表示画像：グループA』  
画像表示エリアAに表示した  
画像1枚のみを対象に処理を  
行います。

『グループA：選択』  
画像表示エリアAに表示した  
画像が含まれるシリーズ中、  
I-Setにて選択した画像1枚  
を対象に処理を行います。

『グループA：全て』  
画像表示エリアAに表示した  
画像がふくまれるシリーズ中  
の全ての画像を対象に処理を  
行います。

※このアプリケーションではONEのVolumeスキャンのデータでは読み込みできません。

(ヘリカルvolumeデータは可能)

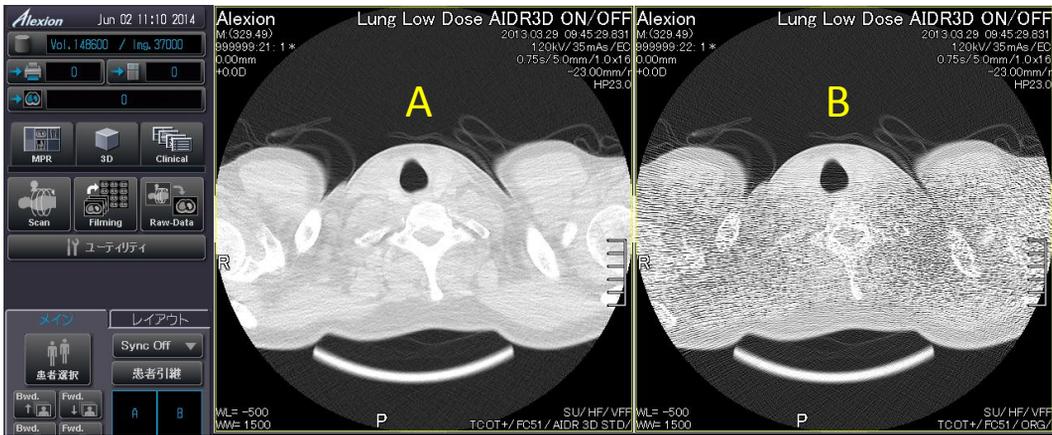
ただし、VolumeスキャンのデータをマルチビューやMPRでアキシャル画像を作成したものは読み込み可能です。

※上記はAlexionV4.75での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。  
ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。

# 使用例：AIDR 3D の効果を確認したい場合

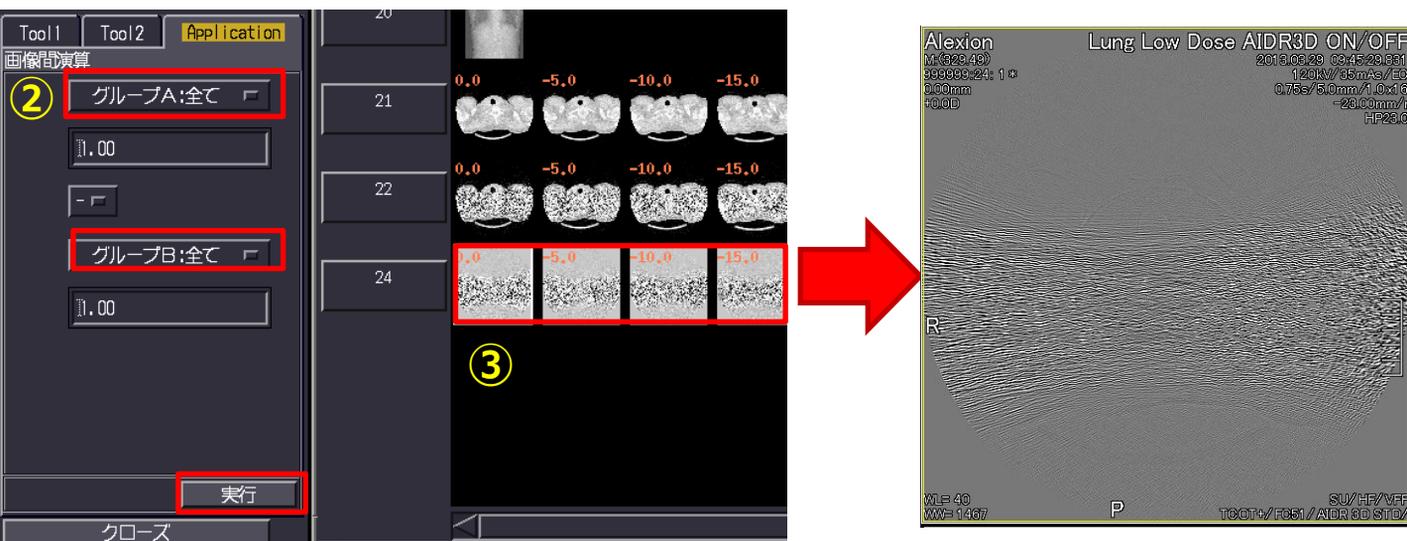
①Autoview-m 画面を開き、

AにAIDR3D ON (画像はStandard)・BにAIDR3D OFFの画像を表示させます。



②Tool2→Add/Subtractを開き、グループA:全て・グループB:全てを選択し実行します。

③最終シリーズにサブトラクションされた画像が作成されます。



※単純・造影画像のサブトラクションに関しては、部位ごとに位置補正を行うサブトラクションのアプリケーションをオプションでご用意しております。

頭部：頭部サブトラクション (軌道同期Op.)

頸部：シユアサブトラクション (軌道同期Op.)

胸部：ラングサブトラクション

心臓：冠動脈サブトラクション

骨付近の腫瘍や血管：骨軟部サブトラクション

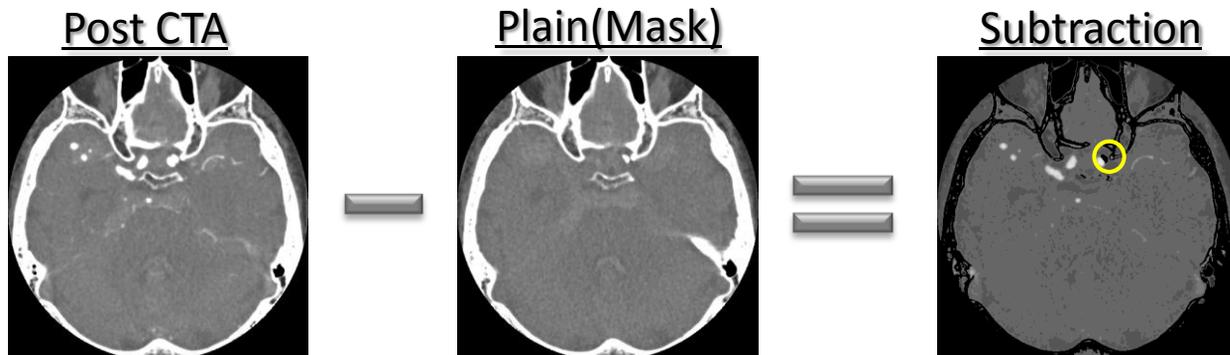
装置・バージョンによって搭載できるオプションが異なりますので、詳細は営業・アプリケーション担当者までお問い合わせください。

# 各種サブトラクションソフトウェア (オプション)

## ■ 頭部サブトラクション

頭部用線形位置合わせ機能付きサブトラクションソフトウェア

単純撮影と造影撮影の撮影軌道を自動的に一致させ、高精度サブトラクションを実現。骨・石灰化を除去できるため、血管系の検査に有効です。

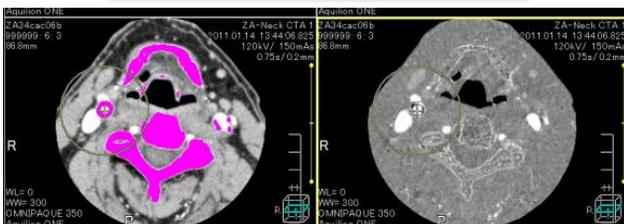


## ■ シュアサブトラクション

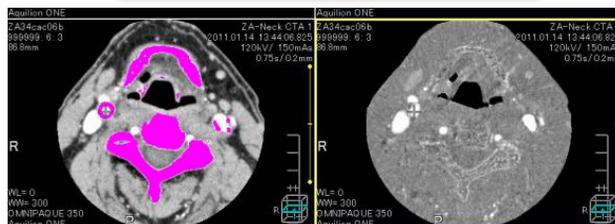
頭部用非線形位置合わせ機能付きサブトラクションソフトウェア

固定のしにくさや拍動・嚥下動作などによる非造影と造影検査の位置ずれの生じやすさを考慮し、高精度な部分サブトラクション機能が実装されています。

### 全体サブトラクション



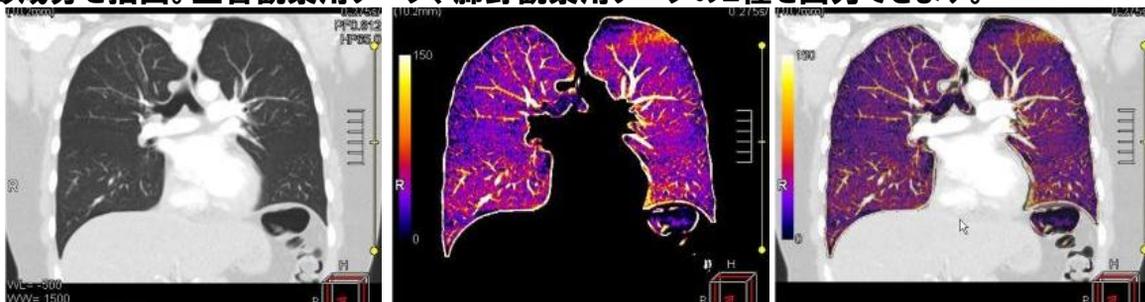
### 部分サブトラクション



## ■ ラングサブトラクション

肺用非線形位置合わせ機能付きサブトラクションソフトウェア

非造影・造影データを全自動で肺野領域抽出 & 非線形位置合わせ & サブトラクションし造影成分を抽出。血管観察用データ、肺野観察用データの2種を出力できます。



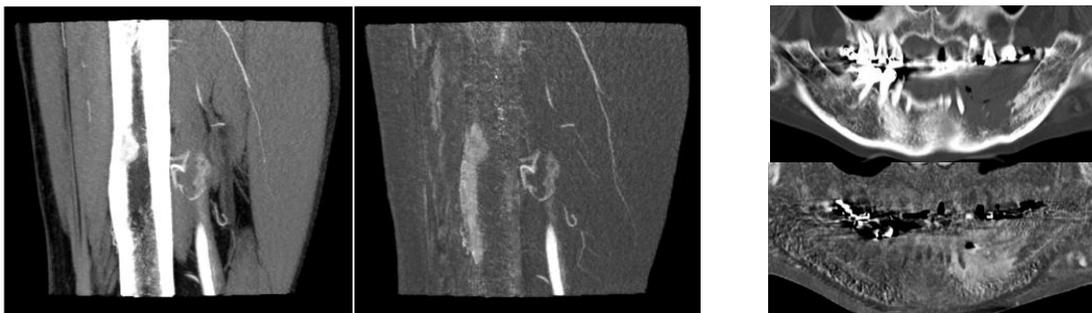
※装置・バージョンによって搭載できるオプションが異なりますので、詳細は営業・アプリケーション担当者までお問い合わせください。

# 各種サブトラクションソフトウェア (オプション)

## ■ 骨軟部サブトラクション

骨用非線形位置合わせ機能付きサブトラクションソフトウェア。

従来MRでしか観察できなかった骨内の腫瘍をサブトラクションの適用によりCTで観察できます。



## ■ 冠動脈サブトラクション

冠動脈用非線形位置合わせ機能付きサブトラクションソフトウェア

造影および非造影の冠動脈CTA画像に対しサブトラクションを行うことで石灰やステント等の高吸収体による影響を低減させることができます。

